

室戸においでよ！家族 DAY！！

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

高知県東部地域及び徳島県南部地域の豊かな自然・歴史・文化を体験する活動、宿泊体験、世代間交流などを通して、青少年のチャレンジ精神、創造性、社会性を育む。

○ 実施期間

令和3年10月23日（土）～10月24日（日）

○ 対象者・参加者数

高知県の小学生を含む家族 26家族83名／40家族120名（人数／定員）

○ 活動プログラム

時刻	1日目（土）	時刻	2日目（日）
13:00	宿泊受付	7:15	朝のつどい
14:00	開会式・オリエンテーション	7:30	朝食（食堂食）
15:00	子ども体験遊びリンピック （記録に挑戦してメダルを狙おう）	8:45	退所点検
17:30	夕べのつどい	9:30	日帰り受付
17:45	夕食（食堂食）	10:00	ブース体験プログラム 〔クラフト:竹細工、流木クラフトなど〕 体験:タッチプール、草スキーなど
18:00	入浴（浴室棟）	11:30	昼食（食堂食）
19:30	夜間プログラム （焚火体験&星空観察）	14:00	終了
22:00	就寝		

2. 活動の様子

<1日目>

参加者は開会式や入所オリエンテーション後、体育館で“室戸ボランティアリーダー”が企画・運営する「子ども体験 遊びリンピック」で様々なゲームを家族で楽しみながら、好記録を目指して挑戦した。たくさんの家族の参加があり、子どもだけでなく大人も童心にかえり真剣に子どもと勝負する姿もみられ、盛況のうちに終了した。

夕べのつどいにて国旗・所旗の降納などを行い、その後は、感染症対策のため時間を区切り、家族毎に夕食を楽しんだ。

夜間プログラムでは天体望遠鏡を使って月や星の観察を行ったり、焚火を囲みながら参加者間の交流を深めた。同時に室戸市の花火大会も開催されており、普段見ることのない山の上から、花火を鑑賞した。終了時間直前まで星空観察や焚火を楽しんだ。



<2日目>

朝のつどいから2日目が始まりました。朝のつどいでは保護者の方々から「何十年ぶりにラジオ体操をして、こんなに清々しい朝は久しぶりだ」との感想も聞こえた。

日帰りの参加者も合流し、開会の号砲が自然の家に鳴り響きブース体験プログラムが始まりました。所内に各所に設けられたブースにて様々なアクティビティを参加者に自由に楽しんでもらった。普段、自然の家で提供しているアクティビティや、タッチプールでの魚との触れ合い、“室戸ボランティアリーダー”の企画ブースや室戸市内のキラメッセ室戸鯨館、室戸ジオパーク推進協議会、室戸ドルフィンセンター、むろと廃校水族館の出張ブースを楽しんでもらった。

草スキーでは大人も子どもも泥まみれになりながら滑走する姿がみられた。また、様々なクラフト活動では真剣な眼差しで制作する姿がみられた。

併せて各ブースでスタンプラリーを実施することで各参加者にたくさんさんのブースを回ってもらった。また、気に入ったブースで繰り返し体験する参加者もあり、中々スタンプがたまらないようであった。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・色々な活動ができてうれしかった。
- ・コロナで泊りとかできなかつたからうれしい。いろんなゲームと焚火がすごかつたのしかつた。
- ・家族といっしょに楽しめたので、今度は友達ときてみようと思つた。
- ・家では絶対にできないことを経験できました。
- ・発達障害、5年生男子思春期と難しいですが、イベントを通して親子でゆっくり過ごせました。
- ・自由に家族単位でまわられたのでコロナも気にせずまわられてよかつたです。
- ・自然にふれることができました。大学生の方に遊んでもらうことを子どもは喜びます。

○ 事業の成果

- ・コロナ禍での開催であつたが、事前申込で宿泊及び日帰り定員を設定しての開催とすることで安心して参加してもらうことができました。
- ・事業をとおして、家族単位での活動により、家族内の交流が多くでき、家族の仲が深まつたと活動の様子やアンケートから感じた。
- ・子ども体験 遊びリンピックを同時開催することで体験活動推進の啓発ができた。

○ 事業の課題

- ・全体験ブースをまわりきれない子どもが多くみられたため、体験ブースの精査が必要と感じた。
- ・宿泊利用希望者が多かつたため、感染防止対策を徹底したうえで募集人数の増加を検討したい。
- ・広大な施設内で体験ブースが分かりにくいとの指摘もあり、案内板の増設を検討したい。